

第 50 回技術士 CPD 講座開催のご案内

公益社団法人日本技術士会 茨城県支部
研修委員会 委員長 土田 亮二

第 50 回技術士 CPD 講座を下記の日時に開催致しますので、ご参加をお願いします。ZOOM によるオンライン開催といたします。

1. **日時** : 2023 年 6 月 17 日 (土) 13 : 30 ~ 17 : 00
2. **場所** : ZOOM によるオンライン開催
3. **開催目的説明** (13 : 30 ~ 13 : 35)
4. **講演 1** : 13 : 35 ~ 15 : 00
 - ・ **演題** : 「全体最適視点で効果を出す業務改革アプローチと DX 実現例のご紹介
ー工場業務見える化ソリューション「MONOSOLEIL」誕生の理由ー
 - ・ **講師** : (株)日立製作所 シニアビジネスプロデューサー 技術士 (経営工学) 石野智子氏
 - ・ **要旨** : 近年、製造業ではさらなる企業競争力の強化が求められています。経営層から製造現場まで工場業務全体を俯瞰し、課題の本質を業務とシステムの両面で見極め、多様化する要件に応じて業務機能部品を選択、組み合わせることで効果を出すソリューションの必要性に着眼し、考案から製品開発、事業立上げを牽引しました。構築事例をご紹介しながら、DX で真に求められるもの、イノベーションに必要なことについてお話ししたいと思います
5. **講演 2** : 15 : 05 ~ 17 : 00
 - ・ **演題** : 「思考のパラダイムシフトと目標達成のメカニズム」
 - ・ **講師** : キシ・ソリューション・ラボ 代表 技術士 (機械) 岸敦夫氏
 - ・ **要旨** : 現代人の 92% はデカルト思考 (科学的思考、要素還元主義思考) だといわれている。事実や真実を「何故なぜ？」分析するこのデカルト思考のお陰で科学革命、産業革命が起こり、現代まで科学技術は発展してきた。反面、このデカルト思考には欠陥があり、変化が激しく多様かつ複雑な現代では、解決できない問題が山積している。そのため、目的 (本質) を追求する「何のため、その目的は？」のブレイクスルー思考 (未来思考、デザイン思考、システム思考) が注目されている。これは、目的を明確化し課題解決する思考法なので、心理的要素が 80% といわれる目標達成のメカニズムとともにご紹介する。
6. **参加定員** : 定員 40 名
7. **会費** : 技術士会会員 : 1,000 円
8. **申込先方法・申込期限** :

《参加申込み》

- ・ 日本技術士会 HP 会員コーナ「CPD 行事の参加申込み行事一覧」より申請。

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

・ 申込期限：6月10日（土）

● お問い合わせ先：日本技術士会 茨城県支部 事務局

E-mail：ibaraki@engineer.or.jp

Tel：029-219-5154

担当：土田 亮二（携帯：090-4673-9178）